

## 景況実感調査(2015年3月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載していません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 浦安地区の薄板市場は、現在厳しい展開が続いている。
- ② 用途が物件向けの物は一部荷動きがあるものの、全体的には鈍く、苦戦している。価格は踏ん張っているが、メーカー、流通共に在庫が多く、安値が出る懸念材料が多いと思料する。
- ③ 在庫過多により市中での荷動きは最低水準となっている。4～6月は、メーカーの大幅減産が無い限り相場は下げ方向に進む。流通の粗利は在庫している意味が無いほどの薄利になりそうである。
- ④ 昨年11月以降、稼働日数が3日位多い割には扱い数量が少ない。
- ⑤ 2月後半から引合いも減る。建築関係の落ち込みが目立つ。
- ⑥ 対前月比、稼働日数が3日増となったが、売上は微増にとどまり、不況感のみが印象として残った期末月。仕入先やCCの加工量は20%前後低下とのこと。メーカーからの契約残引取り要請や商社からの期末売上確保とみられる特値対応も聞かれた。店売り市場は4～6月も好転を予測できる材料も乏しく、我慢の時期が続くそう。SUSのサーチャージ制もベース価格アップで市況を維持するという制度矛盾であり、ユーザー側の理解は難しくなりそう。とにかく安くしても売上には直結しないという共通認識を、メーカー、流通共に共有していくことが足下は必要ではないか。

### 中板

- ① 一般店売りの定尺販売は低調が続く。年度末に安値提示が散見。とくに地方で市況がじり安。夏までは需要の回復が期待できない。

### 厚板

- ① 各建産機ユーザーが減産。
- ② 年初から厚板販売、切板販売は厳しい展開で3月は建築需要の一服感から販売も減少。建機メーカーの減産が続く、年度末なのに盛り上がりがなく新年度も厳しい状況が続くであろう。

### 一般開金鋼

- ① 現場が遅れている。H形鋼のファブが間に合わないとのこと。いろいろな現場で基礎工事以外の職人が余ってきた。
- ② 1月以降、売上数量等は横這いで推移。したがって、市況は弱含み。例年、荷動きが悪い4～6月期を乗り切るのが当面の課題。

## IH形鋼

- ① 出荷量が急激に落ち込んだが、時期的な要因もある。販売価格を下げてでも出荷量は大幅に増加しないため、価格を維持するように努める。
- ② 市況の下押しが続いている。この流れが止まらないと需要も出て来ない。

## 異形棒鋼

- ① 新規物件の引合いが少なく、販売不振が続いている。メーカーの姿勢は堅固だが、市況はじり安傾向にて、環境はさらに悪化。流通の採算は厳しい。

## 平鋼

- ① 荷動きは3月に入りさらに悪化。建築需要の一服感から販売量も減少。先安観が拭い切れず価格も弱含み。在庫用の手当ても少なく、当用買いが中心。先々の状況としては、建築需要も徐々に出て来ると思われ期待しているが、秋口までは荷動きに大きな変化はない可能性もある。

## 車径量形鋼

- ① 前年同月より不況。東北地震の前年と同様な市況感。

## 鋼管

- ① 荷動きは3月に入って悪化。4～6月の動向も良い兆しがあまり見られない。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は調整局面となっている。建築機械関連は全体的に減速傾向が続いており、先々も不透明な状況にある。また、一般機械・工作機械は堅調に推移している。店売りの動きは盛り上がりを欠く状態が続いている。市況については、弱含み横這いで推移している。

## 鋼木才—舟爰

- ① 2月が悪かった分、3月は何とか良かった。ただし、何が良いかと言われると大きな理由もなく、今後は厳しいと思われる。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 全体的には、まだまだ低迷状態であるが、今月は大口受注が多少あったため先月よりも売上が増えた。しかし、件数的にはまだまだ悪化の傾向である。急に良くなることはないと思うが、夏場から秋にかけて上向きになるという話を耳にする。期待したいものである。

### <スクラップ>

- ① 相変わらず荷動きは落ち込み、厳しい状況が続いている。

### <金属表面処理加工>

- ① 3月は、4月からの機械リプレースにより紐付き・物件物を前倒し加工することにより扱い処理量、売上高ともに大幅増となる。スポットも順調に推移しており、前月比5%増。4月より工場ラインが停止となり、協力会社にて紐付き・物件物に対応することから、高操業での計画。